

平成 18 年 5 月 29 日

偽造カードによる不正引出事件についてのご報告

平素は、弊社のカードをご利用、ご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます

さて、弊社カード会員のお客様情報が窃取され、また一部のお客様について偽造カードが作成され金員が窃取された事件(2006年3月28日発表)につきましては、不正作出私電磁的記録供用および窃盗罪の疑いで被疑者が逮捕、4月19日には起訴されたことをご報告申し上げます。

今後の公判を通じて事案の全容とその悪質性が明らかになるものと信じており、犯人に対して厳重な処罰が下されること、そして同様の事態が二度と繰り返されることのないよう、切に願っております。

弊社では、従来よりお客様に安心してサービスをご利用いただけるように、十分なセキュリティ・システムを構築するとともに、継続的な従業員研修を施し、全社を挙げてお客様の大切な情報を保護するべく努力してまいりました。

そして、今回の偽造カードによる不正引出事件を契機として、一層の安全対策の確立に向けて検討を重ねた結果、今日までに、最新技術を前提とした安全基準の設定、外部取引先ルールの整備改訂、社員教育や監査等の社内体制の見直し、システムの更新等、より高度な情報の安全管理体制を再構築しましたことを、ご報告申し上げます。

今後は、二度とこのような事態を発生させないため、安全対策の徹底に努めるとともに、一過性の取り組みに終わらせることのないよう、継続的に見直しを図ってまいります。

お客様におかれましては、今後とも安心して弊社サービスをご利用いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

オリックス・クレジット株式会社
代表取締役社長 山谷 佳之